

新産直市（現ふれあいたかた産直市）の名称募集について

令和2年春にオープン予定の観光ニーズ型道の駅について、多くの人が集う目的地となるよう、中核施設となる「新産直市」の名称を募集します。

- ①応募資格 JA 広島北部管内在住者および、ふれあいたかた産直市利用者
- ②応募方法 新産直市のコンセプト（野菜のフードパーク※本誌裏面）に添った名称を考えていただき、別紙の応募用紙に、必要事項を記入のうえ、専用応募箱に投函、郵送（当日消印有効）またはファックスのいずれかで提出してください。
- ③応募期間 令和元年6月10日（月）から6月28日（金）まで（必着）
- ④審査 選考委員会により決定します。
- ⑤賞品 最優秀賞に記念品を差し上げます。同一名称で応募者多数の場合は抽選で1名の方とさせていただきます。
（最優秀賞受賞者は、11月上旬に開催予定のJAまつりにて表彰させていただきます。）
- ⑥選考結果 JA 広島北部広報誌およびHPにて発表します。
- ⑦その他 応募は、おひとり1点とします。
※最優秀作品等を参考とし、専門家とJA 広島北部が新産直市のコンセプト（野菜のフードパーク）に基づいて名称を考案することもあります。
※「道の駅」名称募集とは異なりますので、ご注意ください。

【応募先】 JA 各支店の営農経済課窓口および本店・営農総合センター受付
ふれあいたかた産直市（計11カ所）

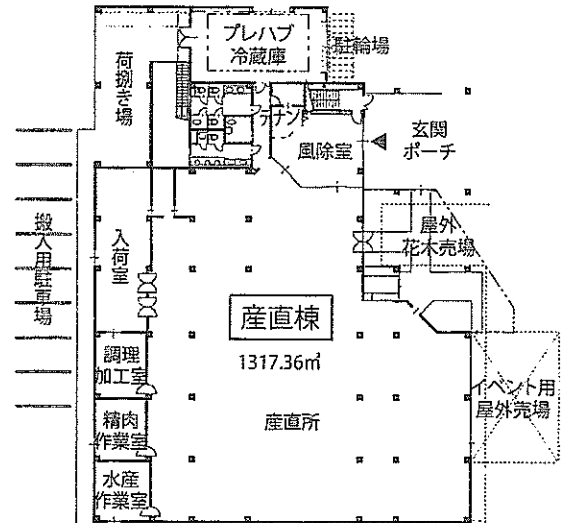
【お問い合わせ先】

JA 広島北部 営農部 指導販売課 担当：宮木・桑田
電話 0826-54-0814 FAX 0826-54-0953

産直市を核とした観光ニーズ型 道の駅へのチャレンジ



内観イメージ図



- 機能は公共性の高い道の駅であるが、運営においては地域の交流人口を増加させる新しい観光活性化拠点。
- 大リニューアルされる「ふれあいたかた産直市」を中核施設(シンボル)として、道の駅全体へイメージ波及をはかる。
- 平成12年10月開業以来蓄積された「ふれあいたかた産直市」の営業実績と経営資源をベースに全体の活性化をはかる。

- 産直市への立寄りを、日常生活消費の場から、あらたに観光レジャー、ショッピングの場としての魅力を付加する。
- 当市への観光客は、個人やグループ、家族が自動車を使って、日帰りでレジャーを楽しむ観光スタイルと認識し「安・近・短」に基づくレジャー行動に対応する拠点化をはかる。
- 観光客ターゲットは広島県内在住者であり、特に人口集中の多い広島都市圏からの日常の余暇活動における目的地としての産直市の魅力付をはかる。

(1) 日常化する産直野菜の販売

産地直送野菜の販売は、今日さまざまな場所で実施されており、消費者に認知され支持されている。多くの道の駅をはじめ、広島都市圏においてはイベント化され、中には常態化されたものもある。又、食品スーパー等においても産直野菜の販売強化が図られ、産直市間の競合

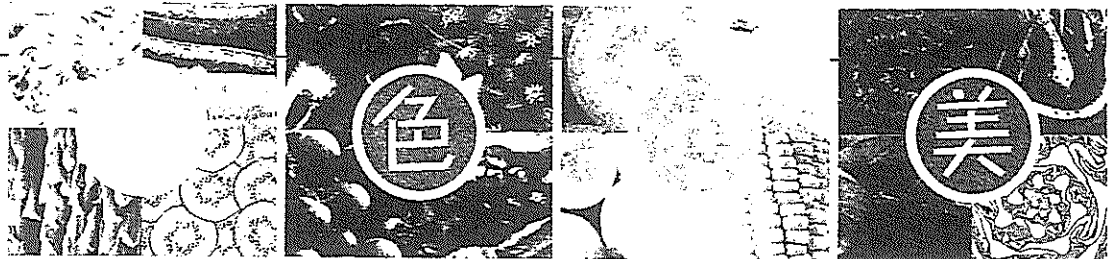
はますます激しくなっている。消費者から求められる産直市の中心的価値は「安心・安全」はもとより「鮮度」と「値ごろ感」に集約されるが、この2つに加えた新しい魅力を付加しなければ、今後の産直市間競争に生き残ることはできない。

(2) 「野菜」をテーマにした「道の駅」の産直市

今、野菜が持つ栄養素や効能が科学的に解明され、テレビや雑誌などでも盛んに取り上げられるようになり、折からの健康ブームや自然食志向を追い風にして「野菜」への関心はますます高まっている。こうした背景から、新しい産直市は

単に野菜の売り場にとどまらず、社会的価値を高める新しい売り場の創造を意図し「野菜の不思議発見」をテーマに、野菜が持つ多面的情報を付加して、他の産直市にない獨創性を高め、独自性を構築する。

(3) コンセプトワード



野菜が持つ色々な魅力を発信し
野菜の持つパワーを食生活に取り入れていただくことで、
健やかで美しいライフスタイルの創造に貢献。



野菜の魅力と不思議を発見する 道の駅——野菜のフードパーク産直市

新産直市 名称応募用紙

応募期間：令和元年6月10日から6月28日（必着）

ふりがな	
あなたのお名前	
年 齢	歳
職 業 (学生の方は学校名と学年)	
性 別	男性 女性
住 所	
電話番号	
ふりがな	
新産直市名称	
名称の簡単な説明	

※上記の事項をもれなく記入してください。

※記入していただいた個人情報は、本募集にかかる業務以外に使用することはありません。

【お問い合わせ先】

〒731-0611

広島県安芸高田市美土里町横田4227番地9

JA 広島北部 営農部 指導販売課

電 話 0826-54-0814

FAX 0826-54-0953